

# 【高校生授業】オイスカ高生 地域企業の魅力を発信



IROHAの作業場を取材する生徒ら  
＝浜松市西区

## 地元企業の魅力発信へ

オイスカ浜松国際高生取材「現場の思い伝えたい」

浜松市西区のオイスカ浜松国際高国際文化

コースの3年生6人がこのほど、生花の生産や卸売りを手掛ける「IROHA(いろは)」(本社・北区)の西区の販売拠点を訪ねて取

材活動を行った。7月をめぐりに取材内容をまとめてブログなどで発信する。

生徒はフロックスや綿花を栽培する農地や作業場、事務所を見学した。同社の山下素子社長から、会社の理念や仕事のやりがいのほか、生花の流通などを学び、出荷先や社名の由来、人気の生花などを尋ねてメモを取った。同社のブーケ製作も体験した。内堀杏奈さん(17)は「現場で働く人の思いや気持ちをしっかりと伝えたい」と話した。

取材は地元の中小企業魅力を市内外に発信する取り組み。生徒は4月から、LPガス販売のエネジン(中区)の協力を受けて取材の方法や記事の書き方などを学んでいる。

エネジン(株)の社員が講師をしている授業の一貫で、オイスカ高校の生徒が地元の企業を取材しました。

高校生が企業と直接話をする場をもつことで、地元の企業を知ってもらい、仕事について学生が考えるきっかけになると同時に、魅力を発信することで地域活性化に繋げることが出来る取り組みです。

随時更新される高校生の取材記事を載せたブログサイト『エネフィブログ』をぜひご覧ください！

令和4年(2022年)6月15日(水)

静岡新聞

